

| | | |
|-------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|
| ⑧上場会社と当該会社との間の関係 | 資本関係 | 株式会社タスキが100%出資する子会社です。 |
| | 人的関係 | 当社の役員及び従業員が当該会社の役員を兼務しております。 |
| | 取引関係 | 当社グループ各社において、当該会社のソフトウェア製品を利用しております。 |
| ⑨当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態等 | 連結財務諸表へ与える影響が軽微であるため、記載を省略しております。 | |

(3) 今後の見通し

現時点では、本件に伴う業績への影響は軽微であります。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかに公表いたします。

2. 報告セグメントの変更

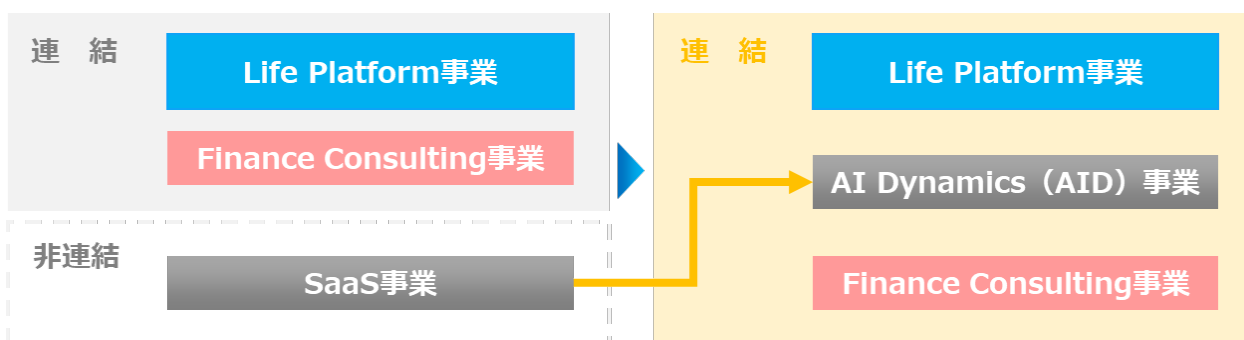
(1) 変更の理由

当社はこれまで、「Life Platform事業」及び「Finance Consulting事業」の2区分を報告セグメントとしておりましたが、AIを核とした不動産DXビジネスへの戦略シフトに伴い、財務及び人的リソース配分の観点から、より精緻な管理・分析が必要となったため、新たに「AI Dynamics事業」を報告セグメントに追加いたしました。

「AI Dynamics事業」は、AIが中核となって事業・業務・意思決定を動かす事業コンセプトを表現するとともに、略称である「AID」は「AIでDXに困った人々を救う (aid)」という想いを込めたものであり、本事業では、AIが自律的に判断・行動する新たな不動産業務プラットフォームの構築を推進してまいります。

(2) 変更の概要

変更後の報告セグメントは以下のとおりです。



(3) 報告セグメントの変更時期

本日発表の「2026年9月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」より変更後のセグメント区分にて報告いたします。

以上